

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	農村女性活力増進事業	会計	一般会計	事業No.	402	施策順No.	12-019
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-1-3-19-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	農業課		
施策	12 人材育成と企業、人材誘導			事業期間	開始	13	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	講座受講者(人)	具体的な数値で表すと(対象指標)					19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	講座受講者(人)					84	84	84	84	84		
	意図	講座受講を通して農業の魅力を認識してもらい、農産加工・販売、就農、伝承活動等を始めるきっかけにしよう。											
	対象をどう変えるか	講座出席率(%)	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	
							74	72	75	75	79	77	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	22年度の受講生は意欲的に講座に参加し、出席率は前年を上回り目標を達成した。各受講生の有志が集まり、農産加工や伝承活動を行うグループが発足した。												

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	女性が自らの意志によって農業経営及びこれに関連する活動に参画できる環境を整備し、農業・農村における男女共同参画を推進する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 農村女性活動支援 (1)飯田あぐり女学院:大豆栽培を中心とした農業と食の加工等を行い農業の魅力を伝える講座 (2)旬の加工塾:地域の特産物の加工方法の習得により旬の伝承人を育成する講座 (3)食ごよみ実践講座:食ごよみに沿った行事食や伝統食の実践を行い後世に伝えていく講座 (4)(1)~(3)を結びつけ、受講者に、より総合的に農業を意識してもらう会 (5)女性農業者グループの活動支援:農村女性ネットワークいいだ、農村生活マイスター飯田支部等の活動を事務局として支援	1 (1)講座の回数、人数 (2)講座の回数、人数 (3)講座の回数、人数 (4)講座の回数、人数	1 (1)10回、20人 (2)8回、28人 (3)9回、36人 (4)1回、84人
	2 農業・農村における男女共同参画の推進 (1)「飯田市農業・農村男女共同参画推進協議会」の活動支援		
23年度実施計画	1 農村女性活動支援 (1)飯田あぐり女学院:大豆栽培を中心とした農業と食の加工等を行い農業の魅力を伝える講座 (2)旬の加工塾:地域の特産物の加工方法の習得により旬の伝承人を育成する講座 (3)食ごよみ実践講座:食ごよみに沿った行事食や伝統食の実践を行い後世に伝えていく講座 (4)(1)~(3)を結びつけ、受講者に、より総合的に農業を意識してもらう会 (5)「いいだ食の文化祭」の開催 (6)女性農業者グループの活動支援:農村女性ネットワークいいだ、農村生活マイスター飯田支部等の活動を事務局として支援	1 (1)講座の回数、人数 (2)講座の回数、人数 (3)講座の回数、人数 (4)講座の回数、人数 (5)回数	1 (1)10回、20人 (2)8回、28人 (3)10回、36人 (4)1回、84人 (5)1回
	2 農業・農村における男女共同参画の推進 (1)「飯田市農業・農村男女共同参画推進協議会」の活動支援		

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項	(そ)ふるさと水と土保全基金利子
	起債						
	その他	300	235	150			
	一般財源	110	0	255			
	計(A)	410	235	405			
正規職員所要時間		300					
臨時職員等所要時間		75					
人件費計(B)		1,153					
トータルコスト A+B		1,388					

4 事業に対する市民や議会の意見

活動を契機として地域で幅広く活躍する仲間もでき、農産物や手作り品の販売にもつながった。人との出会いから何かが始まり、行動することで、確かな喜びが生まれることを実感した。(レディース・ファーム・カレッジ参加者の声)  
 社会に役立つ立派な職業は数多くあるが、「農業」は生きていく上で大切な知恵を学べる最適な職業の一だと思う。あぐり女学院でいくつもの知恵を教えてもらって、これから何ができるかわからないが、私のこれからの道筋が少し見えたかなと思っている。(あぐり女学院卒業文集より)

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内の企業、人材が企業立地、起業・就職できる	施策の成果指標又はムトス指標	新規就業者(新卒者のみ)(人)
				UIターン者数 飯田下伊那(人)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・3講座の展開、女性農業者の育成やグループ活動支援は、地域農業の多様な担い手の確保となり、農業・農村の維持・活性化に貢献してきた。		
	後期に向けた課題	・受講生を確保し、地域農業の多様な担い手となる人材の増加を図る。 ・各種講座や女性農業者グループの活動を幅広く知ってもらえるようPRを行い、農村女性の活躍できる場を増やす取組を検討する。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・(1) 飯田あぐり女学院においては年齢制限を撤廃、(2) 旬の加工塾においては募集の段階で農産物加工販売に意欲のある方を優先した。 ・受講生からの聞き取りやアンケートで把握したことを講座内容に反映させ、より魅力的な講座となるよう計画した。		
	後期に向けた課題	・3講座中、(1) 飯田あぐり女学院の受講者が減少傾向にある。今までの募集方法の他に、週間いいだなどの無料の広報媒体への掲載や各公民館へチラシの設置を依頼するなど、広報の場を増やす。 ・女性の農業に対する関心のある分野を探り、講座内容の充実を図る。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・講座の材料費は受講者負担であるので、事業費は必要最小限の費用で取り組んでいる。		
	後期に向けた課題	・限られた予算の中でより効果的な事業を展開する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・調理実習等にかかる材料費は受講者負担。習得したことは受講者に返ってくることなので妥当である。		
	後期に向けた課題	・(3) 食ごよみ実践講座及び(2) 旬の加工塾の一部は、実施主体を民間(団体もしくは個人)とすることができるかどうか検討する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体は各講座の受講者や農村女性グループ。習得した知識を実際の農業や農産物の加工、伝統食の伝承活動等実践してもらうことで農業・農村の維持・活性化に貢献できる。 ②講座の主催(魅力的な講座の計画、運営)、グループの活動支援		
	後期に向けた課題	・講座の修了生には習得した知識や技術を地域で広めてもらえるよう呼びかける。 ・行政の行う講座や講習会の講師として活躍してもらえるように積極的に声をかける。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・講座受講生からは受講してよかった、とても参考になったとの意見が多数寄せられている。また、修了後は実際に加工販売や普及活動に取り組む人も出てきており成果はあったと考えられる。		
	後期に向けた課題	・各講座の枠にとらわれず、農業を意識してもらえるような事業を展開する。 ・農業農村男女共同参画推進協議会は現在活動休止中であるので、今後の会の展望について検討する必要がある。		

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--